

教科名	科目名	単位数	年・組
技術・家庭	(技術分野)	1	1年1組～3組

使用教科書	副教材
東京書籍 新編 新しい技術・家庭	なし

1. 学習の目標

木材の性質を知識として習得する。
木材加工を通して思い通りの形にできる。

2. 評価の観点

1. 関心・意欲・態度	2. 考え方・判断	3. 技能・表現	4. 知識・理解
興味を持って取り組むことができたか。	授業で経験したことが修得できているか。	授業を通して学んだことを思い通りに使用することができるか。	社会と技術のつながりを理解できているか。

3. 学習計画および学習内容等

学期	月	単元・学習項目	学習計画および学習内容	評価方法
1	4	ガイダンス	身の回りにおける技術について考える。	身の回りの技術について関心を示しているか。 技術の進歩と産業の発達について理解しているか。 丈夫な構造を理解しているか。 製作する作品の図が書けるか。 正しくけがきができるか 機械や工具を適切に使用しているか。
	5	材料と加工	技術の発達によって生活や産業がどのように変化してきたか学ぶ。	
	6	材料と加工法	いろいろな材料とその加工法について学ぶ。	
	7	製作品の設計・製作 ペンスタンド作り	製品を丈夫にする方法、製図について学ぶ。 簡単な製作を通して、工具の使い方を学ぶ。	
2	9	けがき作業	材料へのけがきを行う。	正しく組み立てられているか。 正確にけがきができているか。 両刃のこぎりを正しく使うことができているか。
		切断作業	木材を切断する。	
	組み立て	組み立てを行う。		
	10	塗装	塗装を行う。	
	11	自由設計による製作 けがき作業	生活に必要な製品の製作を行う。 材料へのけがきを行う。	
12	切断作業	材料を切断する。		
3	1	仮組み立て	仮組立を行う。	
		組み立て	組み立てを行う。	
		2 3	塗装	塗装を行う。

※ 上記の内容は、進度によって変更される場合がある。